



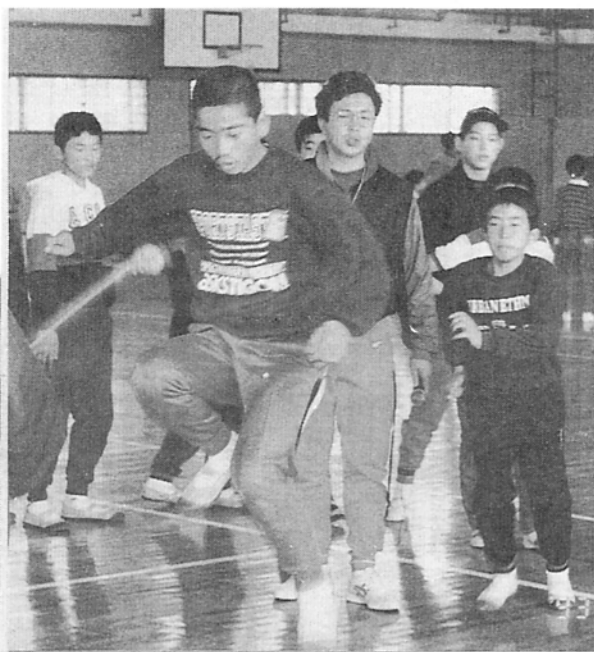
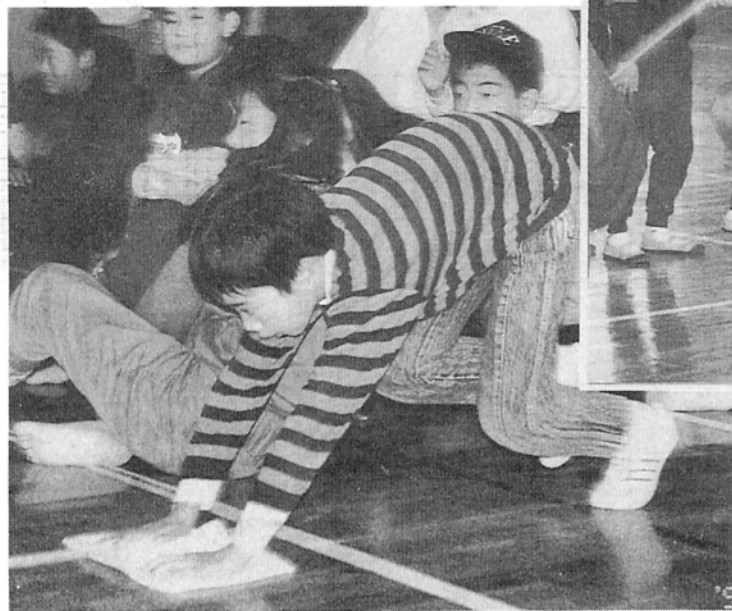
がんば

島原市立第三小学校
育友会報
発行部
広報部

【第120号】



ぞうきんがけリレー、スタート!



長なわとびの連続記録に挑戦だー!



学校・育友会行事

- 3月19日(金) 島原市立第三小学校、卒業式
- 3月24日(木) 3学期、修了式、離任式
- 4月6日(火) 1学期、始業式、新任式
- 4月7日(水) 島原市立第三小学校、入学式
- 4月15日(木) 歓迎遠足(1年生を迎える会)
- 4月20日(木) 県下小中PTA広報紙コンクール
応募、締切り日
- 5月17日(土) 授業参観・学級部会
- 5月18日(日) 自転車教室(3年生)
- 6月8日(火) 長崎新聞PTA新聞づくり講習会
場所～森岳公民館 13時～

* 主な記事 *

- 今、求められる「小さな親切」運動 (2面)
- 三小育友会ボランティア活動 (3面)
- 教育講演会「エイズについて」 (3面)
- 未来にはばたけ6年生! (4面～5面)
- 島原市PTA連合会研究会報告 (6面)
- 健康部だより (6面)

小さな親切運動へ 「水と肥料を！」

島原市に「小さな親切」運動が誕生したのは、今から25年も前で、この第三小学校の子ども達を中心であつたと知り誇りに思うと共に、もう一度この運動に新芽を吹き出させたいと願うものです。

一昨年からの普賢岳噴火は今なお続いています。あれ以来、全国の皆様から寄せられた物心両面からの親切な行為を忘れてはなりません。

「人を信じ、人を愛し、人にくすくす」あいさつの実行、「ハイ」返事の実行、ちりを拾い、紙くずを捨てない実行、「小さな親切」運動が島原に誕生したのは昭和42年12月27日元船津少年団(小学生、中学生)八三名により発足しました。

子ども達に負けてはならないと親達も仲間入りしてくれました。

昭和43年4月、島原第三小学校教育友会の生活部会でも、私達も協力しようとして島原第三小学校で親子での「小さな親切」運動への入会が、島原市内の老人会・婦人会にも反映し、昭和43年6月23日、霊丘公園の青空会場で「小

せん。激励の手紙や寄せ書きは今でも続いています。「外で遊べないでしよう、本を読んで下さい。」と図書券や百科辞典の贈り物もありました。たくさんさんの義援金もいただきました。

ところで、子ども達は親切の「受け手」にまわってしまい、感謝する心や、物を大切にしている心が、いづらか薄らいでいるようで気にな

小さな親切運動」島原分会の結成式に六八四名が出席し、開催されました。会長に松尾市長、副会長に松本巖教育長、町内会長を代表して山北霊丘地区町内会連合会長、事務

三小の生徒が始めた「小さな親切」 島原若水会・事務局長 元 島和男

局長元島和男、事務局次長園田秀利社会教育課長が就任し、その名も島原若水会と松本教育長の命名により発足しました。祖先が残してくれた「人情豊かな島原」を守ろうと、次々と入会

ります。

◇落とし物が多く、拾った物は廊下に並べていますが、受け取りに来る子は少ない。

◇「誰の服だろうか、かわいそうに」と拾ってきた子の優しさに対し、「ぼくの服のようだが……」と知らんぷりの子。

◇お菓子の袋を無造作にポイと捨てる子。月曜日の校庭はゴミでにぎやかです。

一方、「人につくす」、「皆のためになる事」を勇気を出して実行している子ども達もいます。気持ちよい便所しようとして絵や花を飾っ

して下さる大人・子ども達と共に「小さな親切」運動が実践され、島原第三小学校の実践活動を含め、度々全国に紹介されました。五〇〇名から入会していた児童たちも、現在三小の生徒で会員は二〇名に減少し、市内の会員も一〇〇〇名を割ってしまいました。

この度の雲仙普賢岳の噴火に対し、全国の「小さな親切」会員から島原市に寄せられました見舞金は数千万円になります。

8月3日、第24周年記念大会を開催し、全国の皆様に感謝し、ましようと思ひ合いました。

ている子。早く登校して廊下のモップかけを忘れない子。校長室によく花を飾ってくれる子。給食のおばさんへの感謝の手紙を届け続ける子ども。お年よりの荷物をバスに積みこんでくれて、感謝の便りをいただいた子ども等々、「小さな親切」運動の根柢はたくさん残り生きており、水と肥料をほしがっています。

マラソン大会(2月23日)では、寒がっている友に自分のジャンパーを着せかけている子を見かけました。二人の笑顔がとても印象的でした。私も春風のように温かい心を感じました。

小さな親切は、魔法使いの力を持っていてようです。魔法の灯りを持っていてようです。ちょっとした何げない「小さな親切」が第三小学校を、あなたの家庭を、私たちの町を明るくしてくれるに違いありません。

21世紀は、心と文化の時代をめざしています。未来からの使者子どもたちの心豊かな成長を願い、校内から「小さな親切運動」の展開をこころみたいものです。

(校長・橋本徹也)

三小育友会

ボランティア活動

環境部長

荒木 修

「人を信じ、人のために尽くす」ボランティア活動、よく聞く言葉です。私は最近、育友会環境部長として三小隣接家屋の火事場残骸作業を担当する事になりました。当日は日曜日なので、参加人数

も少ないのではと心配しましたが、四十三名もの協力者を得て、作業はスムーズにはかどりま

した。焼け焦げの材木をトラックで運

きれいに整地し、美しい環境にすることができました。

火事の後始末は、家主（責任ある者）がしなければならぬ事と決まっています。今回は当事者が荒尾市にお住いであり、病氣療養中という事もあり、学校環境を整える一環としてボランティアをお願いしたところでした。地権者から、「本当にすまない。自分がなくてはならぬのに……。」と何度か学校へお電話を掛けられたそうで



す。作業では一人一人が気持ちよく活動して下さったし、学校の為に

「尽くす」という美しい仕事ぶりがたくさん見られ、感動した一日でした。

参加の皆さんに心から感謝する

とともに、重機・トラックなど貸して下さった事業所に御礼を申し

教育講演会

「エイズについて」

教養部副部长

相良 陽子

エイズ―後天性免疫不全症候群―この言葉を新聞やテレビで見ない日はない程、世界的に大きな問題となっております。この世界的規模で猛威を振り続けているエイズについて正しい認識を持ち、不必要な心配や誤解・偏見を一掃し、その予防に役立てようという趣旨で2月26日、健康部、教養部共催で講演会を開催致しました。

講師には、三小の校医で地元医師会の中でもエイズ対策に熱心に取り組まれ、深いご見識をお持ちの河原弘先生をお招きし、時にはユーモアを交え、わかり易くお話し頂きました。

エイズとは、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染して起こる疾患で、感染すると身体を病気がら守る免疫系が破壊されて、身体

上げ報告といたします。ありがとうございます。

の抵抗力が低下し、普段では考えられない様な何でもない感染症や悪性腫瘍で必ず死に至るとい、今までに人類が遭遇した事のない恐るべき疾患ですが、その一方、このウイルスは感染力が弱く、又、感染経路が「血液・体液等」と限られていて、通常の社会生活ではほとんど感染する事がないそうです。講演を聞いて、エイズは怖いけど正しい知識を持ち、普通の生活をしていれば決して恐がる必要はないという感を強くしました。これから思春期を迎える子供を持つ親として、子ども達にも正しい知識を伝えなければと思います。最後になりましたが、寒い中多数御参加下さいました会員の皆様、有難うございました。





一組担任
稲 栄 浩 保

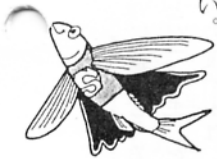
「卒業おめでとうございます。」先日、卒業生台帳を書いていたら今回の卒業式で第三小学校は九七二三人目の卒業生を生み出している事に気づきました。毎年毎年多くの卒業生が巣立って行く中で、今年も一二五名が巣立ちます。中学校では、友達や先生方との人間

関係のつまづきで、学校へ行けなくなる人達がいるそうです。その原因の一つに、真の友達を持っている人が少ないことがあげられると思います。

卒業生のみなさん、一二五名のみんなの団結力を期待します。

「みんな仲間だ」ということを意識してください。みんな三小の卒業生だという自覚を持って、困っている人がいたら「思いやりの心」を持って接してください。また、中学校では「二中の仲間だ」という自覚を持ってください。みなさん

は、家庭、学級、学年、学校、部活などいろんな集団の仲間の一員なのです。決して一人ではないのです。喜びも悲しみも、友と分かち合ってください。



二組担任
平 野 洋 子

漫画家になりたい！ミュージカルに出たい！火山学者・昆虫学者になりたい！あとをつぎたい！など、

子ども達の将来の夢を読みながら、その実現へ大きな期待を寄せています。

偶然にも二度の出会いをする事になった子ども達でした。何事にも、自分達から進んで取り組むというタイプではありませんでした。

しかし、仕事を引き受けると、手分けをして一致協力してがんばる姿が見られました。また、やりとげた時の充実感も味わったはずですよ。とにかく、やればできる子ども達だという印象が強くあります。鋭さも鈍きもともに捨てがたし

こけ六年生！

— 思い出をありがとう —

誰も槌とに
使い分けなば

自分を知り、「夢」の実現のための努力を続けて欲しいものです。子ども達の「夢の実現」を自分の楽しみの一つとして見守っていきたくと思っています。





三組担任
永田 俊文

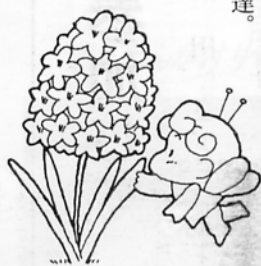
六年三組三〇名と出会った四月から一年が過ぎようとしている。坂崎君、大町さんの転出で二八名と寂しくなっていたが、大町里美さんが帰って来た。
良かった。中学校でも二九名がいや、六年生一二六名が仲良く助け合っていて欲しい。これが、

私の唯一の願いである。

先日まで新聞が報道していた、あのカモ事件、矢が突き刺さったカモの姿はシヨッキンダだった。みんながひどいと騒いだけれど、自分も目に見えない矢を人の心に射かけている。かもしれない。そう反省し、

友達への思いやりの心をこれからも先、ずっと持ち続けて欲しい。
ガラスのようにこわれやすい心もたくさんある。強い心が弱い心を助ける世の中になって欲しい。

そんな未来は、あなたたちの「心」にかかっているのだ。温かい心を翼にのせて、未来にはばたけ子ども達。



未来にはばた

四組担任
松尾 まり子

六年四組のみなさん、ご卒業おめでとうございます。
三三名の全員のみなさんが元気に中学校へと巣立っていかれることをうれしく思います。
今は希望とよろこびで胸

今という時は二度とかえってきません。一日一日を大切にしてください。くいのない日々を過ごして下さい。みなさんの優しさと明るさは忘れません。
がんばって下さい。



がいつばいの事でしょう。中学校に行っても、その新鮮な気持ちを持ち続けてがんばって下さい。
みなさんが二〇歳になるのは今から八年後の二〇〇一年……、そのころは、今とは大きく世の中が変わっているでしょうが、とてもすばらしい未来が開けてくると思います。みなさんが大人になる頃が楽しみです。
中学校でも勉強に運動に励んで下さい。そして、友達と助け合って共に向上して欲しいと思います。



市P連研究会に参加して

生活部副部長 前田 さとみ

一月十六日、市単位では初めて開かれたPTA連合会の研究会に参加させて頂き、分科会では生活関係部会に臨みました。

初回で情報交換が目的の会合ではありましたが、出席者は市内の方々がばかりで皆さん顔見知りの方が多く、三小の副会長の内田さんの名司会で会議はなごやかに進みました。各校とも校区の環境に合った特色ある行事を実行されていて興味ある発表でした。

一例を紹介すると、三小小では親子で農作業・収穫祭、一小では親子キャンプ等、体験を通じて子供の自主性を高める目的で活動されています。

三小で実施されている生活標語の募集、町内訪問は他校にはない活動であり、今後ともマンネリ化に流されることなく有意義な活動である事を望みます。生活指導においても、各校とも金銭の使い方、ゲーム機の使用、

万引き等、問題点は共通しており、取り組み方も先生・保護者と一体になり、地域の育成会を通じて改善されるよう努力されている様子でした。この中で、問題のある児童の指導には同時に親の指導も必要であるとの指摘に、常に家庭でも子供の生活態度に留意し、健全な生活習慣を身につけるべきと認識しました。他に、安全性の高いヘルメットの着用を市内全校で再確認されました。

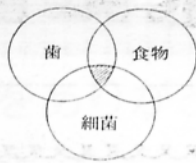
三小育友会広報紙「がんば」も今年度最後の発行となりました。年間の統一テーマ、
①地域に密着した広報紙作り。
②三小・五小、保護者・児童の交流を紙面に反映させる。
③広報部員の「絆」を強める事を主眼に運営する。
に基づき広報紙の発行を重ねてまいりました。精一杯頑張ってきたかと自問の度に疑問を感じ、これまで発行した「がんば」紙面をめぐる度に赤面するばかりです。飽きもせず、文句も言わずお読みいただいた諸氏に心より感謝する次第です。



去る1月29日に、歯科医の渡部哲夫先生より、「虫歯の原因とその予防について」のご講演がありましたので、その内容について簡単にお知らせいたします。

近年、砂糖消費量の増加とともに虫歯が増えてきました。そこで、80才までに20本の歯を持つという「8020運動」が行われているそうです。

乳歯は20本で、2才半頃までに完成し、永久歯は28本で、6才～12・15才で入れ変わるといことです。



虫歯は、砂糖にストレプトコッカス連鎖球菌が働いて、酸を生か

産し、エナメル質を溶かした結果でさるそうです。(図参照)

虫歯を予防するために、歯みがき、特に夜寝る前の歯みがきが大切で、また甘い物の取り過ぎに注意しましょうとのアドバイスがありました。

小学生は虫歯になりやすいそうです。ご家族で歯みがきをがんばって下さい。

「がんば一二〇号」は、地域に育つ子ども達に今、必要な「豊かな心、やさしい心」を「小さな親切」運動を通して身に付けてほしいと願う執筆してもらいました。また、小学校生活最後となりました六年生へは、新たな飛躍を遂げるよう激励と希望を託す「ふみ」を担任の先生方に書いていただきました。



編集後記